

# 香川県の地震

令和4年(2022年)8月

## 香川県の地震活動

震央分布図、断面図	・・・	1
地震概況	・・・	1
香川県の地震表(震度1以上)	・・・	2
震度分布図	・・・	2

## 南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会<sup>(注)</sup>

評価検討会調査結果 令和4年(2022年)9月7日	・・・	3
<small>(注)直近に開催された評価検討会の調査結果を掲載します。</small>		

## 地震一口メモ

「緊急地震速報を見聞きしたら・・・ あわてず、まず身の安全を!!」・・・ 4～5

この資料の震源リスト・震源要素(緯度、経度、深さ、マグニチュード)は暫定値であり、後日再調査の上修正されることがあります。

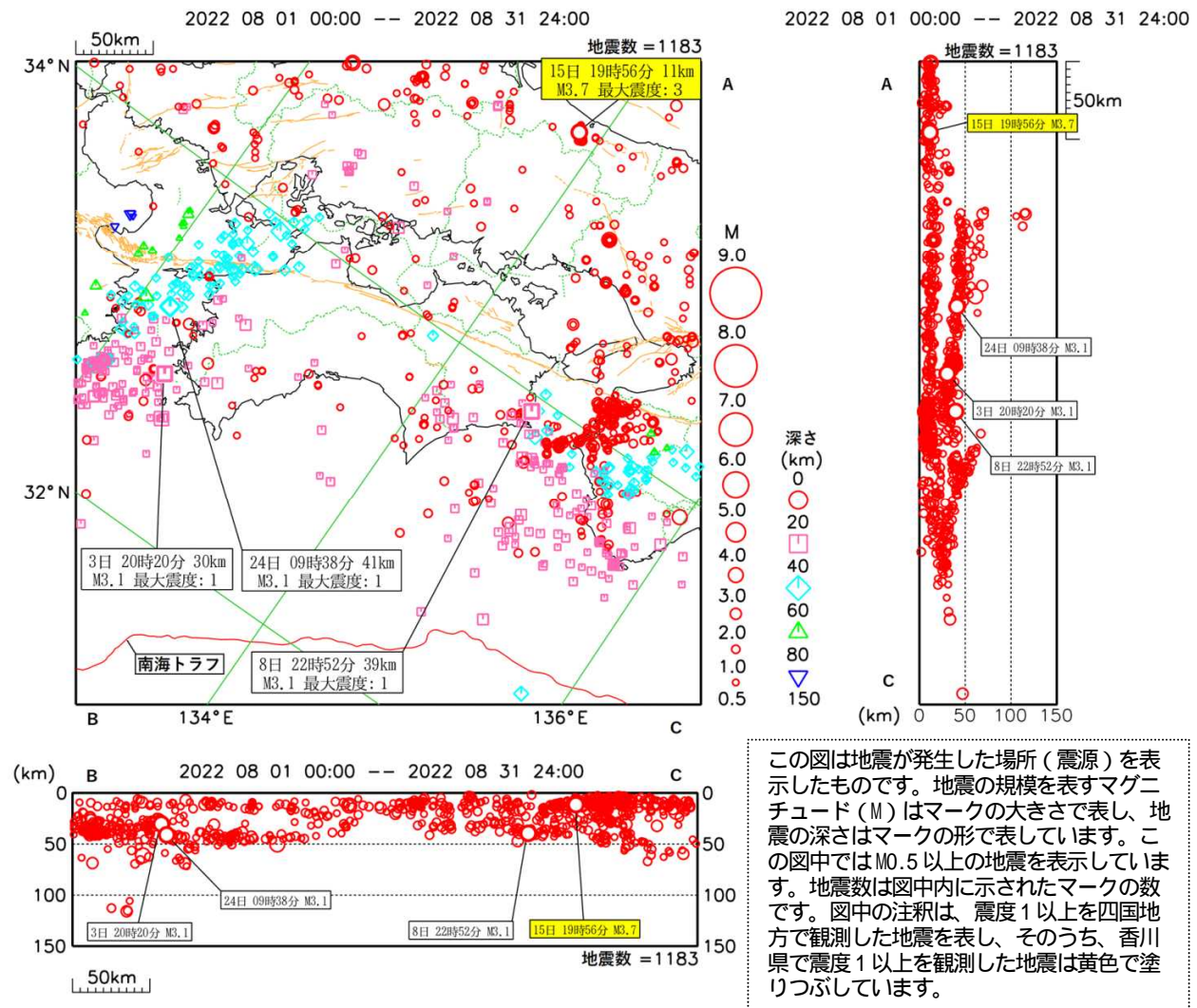
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

高松地方気象台

# 【香川県の地震活動】

2022年8月

## 震央分布図、断面図



〔左上：震央分布図、右上：A-Cを投影面とした断面図、  
左下：B-Cを投影面とした断面図〕

## 地震概況

香川県で震度1以上を観測した地震は、次の1回でした（前月は0回）。

15日 19時56分 鳥取県中部の地震（深さ11km、M3.7）により、香川県高松市で震度1を観測しました。  
この地震では、鳥取県倉吉市で震度3を観測したほか、鳥取県、島根県、岡山県、香川県で震度2～1を観測しました。

四国で震度1以上を観測した地震は、前述の他に次の3回でした。

3日 20時20分 豊後水道の地震（深さ30km、M3.1）により、愛媛県愛南町、高知県宿毛市で震度1を観測しました。

8日 22時52分 徳島県南部の地震（深さ39km、M3.1）により、徳島県美馬市・那賀町で震度1を観測しました。

24日 09時38分 豊後水道の地震（深さ41km、M3.1）により、愛媛県宇和島市で震度1を観測しました。

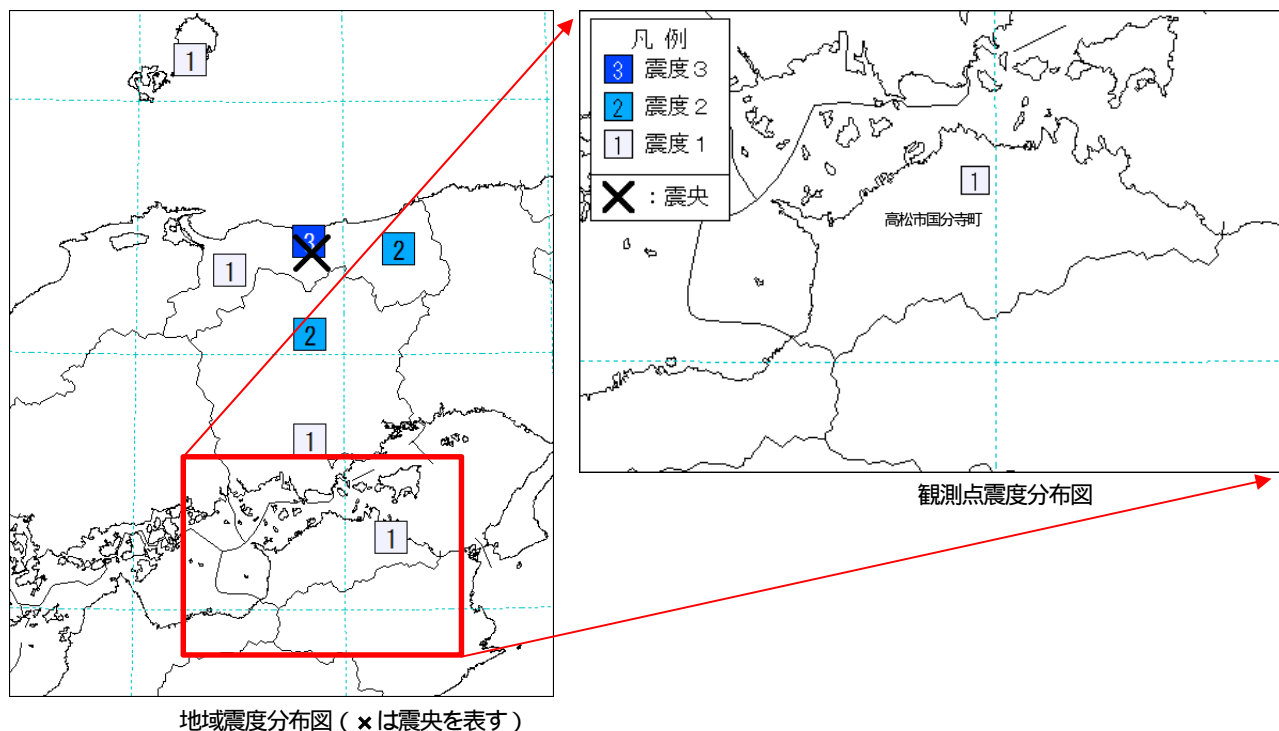
## 香川県の地震表（震度1以上）

震源時（年月日時分） 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2022年08月15日19時56分 香川県 震度1：高松市国分寺町*	鳥取県中部	35° 24.1' N	133° 50.6' E	11km	M3.7

\*は気象庁以外の震度観測点

## 震度分布図

2022年08月15日19時56分 鳥取県中部の地震



# 【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会】

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催しています。

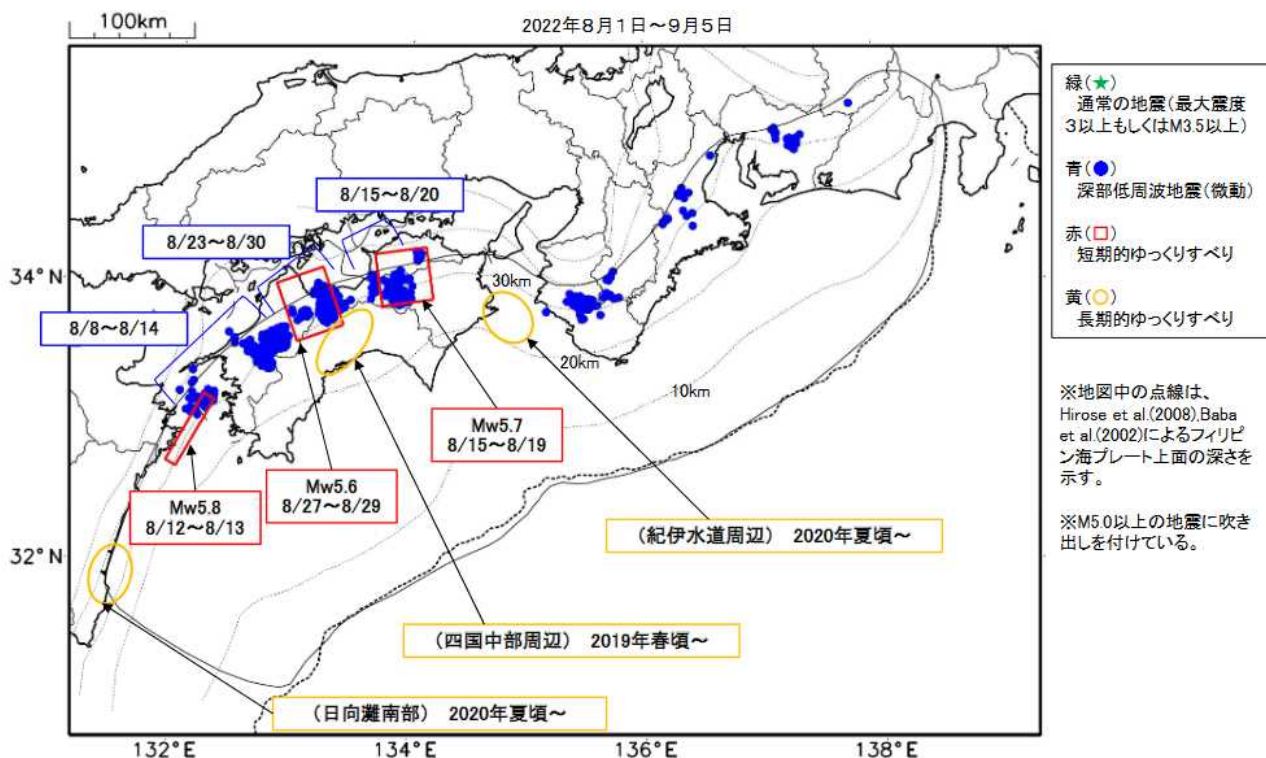
令和4年(2022年)9月7日に公表された評価検討会で評価された調査結果は次のとおりです。

## 【調査結果(概要)】

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注)南海トラフ沿いの大規模地震(M8からM9クラス)は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から既に70年以上が経過していることから切迫性の高い状態です。

## 【最近の南海トラフ周辺の地殻活動】



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)……………気象庁の解析結果による。  
深部低周波地震(微動)……………(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁の解析結果による。  
短期的ゆっくりすべり……………【四国東部、四国中部、四国西部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。  
長期的ゆっくりすべり……………【四国中部周辺、紀伊水道周辺、日向灘南部】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

気象庁作成

上図の深部低周波地震(青)、短期的ゆっくりすべり(赤)、長期的ゆっくりすべり(黄)について、これらの現象は、プレート境界の固着状況の変化を示す現象と考えられることから、気象庁は、関係機関の協力も得ながら注意深く監視しています。

なお、詳細は、次の気象庁報道発表資料をご参照ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2209/07a/nt20220907.html>

また、最新の南海トラフ地震に関連する情報は次のページ(URL)をご参照ください。

ホーム> 防災情報> 南海トラフ地震関連情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>

## 【地震一口メモ】

「緊急地震速報を見聞きしたら… あわてず、まず身の安全を！！」

### 緊急地震速報

緊急地震速報は、地震による強い揺れを事前にお知らせする情報です。最大震度5弱以上を予想した時に、震度4以上を予想した地域に対して緊急地震速報（警報）を発表します。

#### <専用音>

緊急地震速報は、情報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません。その短い間に身を守るための行動をとる必要があります。

また、この短い間に行動を起こすためには、緊急地震速報が発表されたことを即座にわかるよう専用音（報知音）を覚えておく必要があります。

緊急地震速報が発表されたことが即座にわかるよう、テレビやラジオ、携帯電話（スマートフォン）などでは、専用音（報知音）と共に緊急地震速報をお知らせします。

テレビやラジオなどでの放送内容や携帯電話（スマートフォン）で着信した内容を確認していると、強い揺れへの備えが遅れてしまいますが、この報知音を覚えておくことで、緊急地震速報が発表されたときに、とっさに身を守る行動がとれるようになり、緊急地震速報をより有効に利用できるようになります。

報知音の主なものには、テレビやラジオ、防災行政無線、受信端末などで使用されている「チャイム音」と、携帯電話会社共通の「ブザー音」があり、下のホームページで試聴することができます。

お持ちの携帯電話（スマートフォン）が緊急地震速報を受信する機能を持っているかどうか、事前にマニュアルで確認しておきましょう。一部の自治体が緊急速報メールを使って行う訓練で確認することもできます。

まわりの人にも声をかけながら

あわてず、まず身の安全を！！

緊急地震速報の「チャイム音」（NHK ホームページ）

<https://www.nhk.or.jp/sonae/bousai/>

緊急地震速報の携帯電話専用「ブザー音」（NTT ドコモホームページ）

[https://www.docomo.ne.jp/service/areamail/earthquake\\_warning/#p04](https://www.docomo.ne.jp/service/areamail/earthquake_warning/#p04)

### 緊急地震速報を見聞きしたときは

緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。

さまざまな場面において緊急地震速報を見聞きした時にとるべき行動の具体例について解説します。

#### <屋内にいるとき>

##### ○家庭では

頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難してください。

あわてて外に飛び出さないでください。  
無理に火を消そうとしないでください。



##### ○人が大勢いる施設では

施設の係員の指示に従ってください。

落ち着いて行動し、あわてて出口には走り出さないでください。



### <乗り物にのっているとき>

#### ○自動車運転中は

- あわててスピードを落とさないでください。
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促してください。
- 急ブレーキはかけず、緩やかに速度をおとしてください。
- 大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止してください。

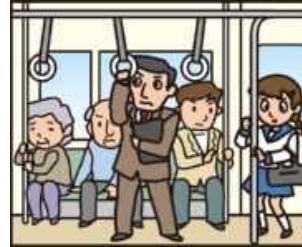


#### ○鉄道やバスなどに乗車中は

- つり革や手すりにしっかりつかまってください。

#### ○エレベーターでは

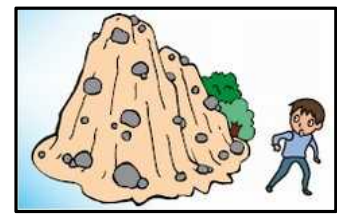
- 最寄りの階で停止させて、すぐに降りてください。



### <屋外にいる時>

#### ○街中では

- ブロック塀の倒壊等に注意してください。
- 看板や割れたガラスの落下に注意してください。
- 丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難してください。



#### ○山やがけ付近では

- 落石やがけ崩れに注意してください。

### 日頃からの備え

#### <地震に備えましょう>

強い揺れに見舞われると、家具の落下や、転倒、ガラスの破損などが起きることが想定されます。「緊急地震速報」を見聞きしても、これらの危険に対する備えができていなければ身の安全を守ることができません。日頃から地震への備えを心がけると共に、室内の安全な場所を把握しておきましょう。

#### <日頃からの備えの例>

- ・住宅、建造物の耐震化
- ・家具などの転倒・移動防止
- ・備品の落下防止
- ・ガラスなどの飛散防止

#### <訓練して備えましょう>

訓練は簡単・短時間で実施することもできます。緊急地震速報を見聞きした時に、とっさに身の安全を確保する行動がとれるように、「練習」する機会だと思ってください。

まず、本資料を参考に、例えば自分がよく利用する場所（学校、職場など）でどうすれば身を守るかイメージしておき、短い時間で本当にその行動がとれるのか、実際に行動して確認しましょう。

最近では、「シェイクアウト訓練」という 2008 年にアメリカで始まった地震防災訓練も注目されています。これは、指定された日時に、地震から身を守るための 3 つの安全行動（姿勢を低く、頭を守って、揺れが収まるまでじっとする）を各人がいる場所（職場、学校、外出先等）で約 1 分間行うというものです。

緊急地震速報の報知音を合図に、このような訓練もやってみましょう。

#### <視覚障害者向け緊急地震速報の周知広報資料リンク先>

音声広報 CD「明日への声」は、政府の施策等を、分かりやすい内容にまとめて収録したものです。また、「ふれあいらしんばん」は、音声広報 CD の内容の主なものを活字に起こしたものです。令和 4 年 5 月発行分には「緊急地震速報を聞いたら、慌てずに身の安全を守る行動を」が掲載されています。緊急地震速報の報知音が聞こえてから、強い揺れが来るまでの時間はわずかしかありません。即座にどのような行動をとればよいか、これらの広報資料を活用し、緊急時の行動について考えてみましょう。

内閣府音声広報 CD「明日への声」Vol.85（令和 4 年（2022 年）5 月発行）

[https://dwl.gov-online.go.jp/video/cao/dl/public\\_html/gov/topics/onseicd/202205/onseicd\\_202205\\_all.mp3](https://dwl.gov-online.go.jp/video/cao/dl/public_html/gov/topics/onseicd/202205/onseicd_202205_all.mp3)

内閣府点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」Vol.85（令和 4 年（2022 年）5 月発行）

[https://dwl.gov-online.go.jp/video/cao/dl/public\\_html/gov/pdf/katsujit/tenjidai/katsujit202205.pdf](https://dwl.gov-online.go.jp/video/cao/dl/public_html/gov/pdf/katsujit/tenjidai/katsujit202205.pdf)